

| | |
|---------|-----------------------------------|
| 氏名 | 青 木 輝 行 |
| 学位の種類 | 医 学 博 士 |
| 学位授与番号 | 乙 第 981 号 |
| 学位授与の日付 | 昭和53年9月30日 |
| 学位授与の要件 | 博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当) |
| 学位論文題目 | モルモット蝸牛の走査電顕的研究 — 樹脂冷凍切断法による — |
| 論文審査委員 | 教授 大塚長康 教授 大内 弘 教授 新見嘉兵衛 |

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

正常モルモット蝸牛を樹脂冷凍切断法により切断し、この試料を走査電顕的に観察した。従来の surface preparation technique に比較して、組織の表面構造ばかりでなく、内部・下部構造を十分に観察することができたと考える。

本文には、写真を示し、以下の点について観察結果を述べるとともに、コルチリンパの起源、蓋膜と有毛細胞聴毛の関係などにつき若干の考察を試みた。

- 1) 蝸牛外リンパ腔内壁面
- 2) 蝸牛管内腔外側壁
- 3) 骨ラセン板
- 4) コルチトンネル部の基底板
- 5) 蓋 膜
- 6) 蓋膜と有毛細胞聴毛との関係
- 7) hook 領域の有毛細胞の形態的变化

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究はモルモットの蝸牛を樹脂凍結切断法により走査電顕で観察したもので、この方法により、これまで十分に解明されていなかった蝸牛の内部の立体構造に関して多くの重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。